

令和5年度 船橋市総合防災訓練 実施結果報告

1 訓練の目的

災害対策基本法第48条及び船橋市地域防災計画に基づき、本市に影響を及ぼす大地震の発生を想定し、応急対策等の防災活動が迅速かつ的確、そして、総合的な対応ができるように体制の確立を図り、災害に強いまちづくり及び災害に強い行動力をもった人づくりを目的に訓練を実施する。

2 訓練の方針

首都直下地震の発生が危惧されているなか、千葉県が被害想定した千葉県北西部直下地震発生後、迅速かつ柔軟な対応がとれるよう、市職員の対応力強化及び市職員・施設職員の連携強化を図るとともに、地域住民の防災意識の向上を図る。

3 訓練想定

千葉県北西部を震源とする地震が発生、地震の規模はM7.3と推定され、市内でも最大震度6強を測定した。

地震により、住家や道路などに甚大な被害がもたらされ、ライフライン機能が失われた。また、死者、負傷者等多数発生、市街地を中心に多数の火災が発生している。

4 訓練実施日

令和5年11月26日(日)9時00分から12時00分まで

5 訓練会場・実施内容

市立金杉小学校を主会場とする全82会場(市立55小学校、市立26中学校、船橋特別支援学校高根台校舎)

(1)いっせい行動訓練(シェイクアウト訓練)、避難訓練	@市内全域(参加者のみ)
(2)避難所開設・運営訓練	@全82会場
(3)資機材取扱訓練	@全82会場
(4)初期消火訓練又は応急救護訓練	@主会場を除く81会場
(5)市保健所による防災訓練	@市保健福祉センター
(6)市立医療センターによる防災訓練	@市立医療センター
(7)防災関係機関との情報伝達訓練	@市本庁舎災害対策本部室

6 訓練参加者

(1)避難所開設・運営訓練等

・市民	3,509名
・防災関係団体 他	101名
・市職員(消防職員を除く)	574名
・消防職団員	340名
・学校職員	132名
計	4,656名…①

(2)市保健所による防災訓練

・市職員	24名
計	24名…②

(3)市立医療センターによる防災訓練

・医療センター職員	159名
計	159名…③

(4)防災関係機関との情報伝達訓練

・供給班、道路班、下水道班、都市施設班	6名
・危機管理課職員(諸対応含む)	3名
・防災関係機関	24名
計	33名…④

総合防災訓練参加者合計(①+②+③+④)

合計	4,872名
----	--------

7 訓練参加町会数

448 町会・自治会(うちマンション管理組合 2)

8 訓練内容・訓練従事者

(1)いっせい行動訓練(シェイクアウト訓練)……………市民、市職員等

家庭等の日常生活の場において、各自が冷静に判断し行動できるように、いっせい行動訓練(シェイクアウト訓練)を実施し、その後、家族の安否確認の方法、非常持出品の確認などを実施しました。

(2)避難訓練……………市民

訓練参加者各自が、避難所までの安全な経路を確認しながら避難訓練を実施しました。

(3)避難所開設・運営訓練……………市職員、学校職員、市民

市立金杉小学校では、避難所運営委員会が主体となり、避難所運営に必要な各種業務について、各班に分かれて訓練を実施しました。

また、その他の81会場については、「避難所運営マニュアル」や、「避難所運営アクションシート」に基づく、避難所開設・運営方法の動画視聴を実施しました。

① 施設管理班(避難所開設のための施設点検訓練)



② 総務班・情報班(避難者受付訓練・避難行動要支援者名簿消込訓練)



③ 食料・物資班(給水車・応急給水用仮設給水栓を使用した給水訓練)



④ 保健衛生班(ペット同行避難・受入訓練)



⑤ 要配慮者班(要配慮者受入訓練)



(4) 資機材取扱訓練.....市職員、市民

避難所に備蓄されている防災資機材の取扱訓練を実施しました。

① 市立金杉小学校・・・LEDバルーン照明・紙管パーテーション・マンホールトイレ

② その他81会場・・・LEDバルーン照明・紙管パーテーション

ワンタッチパーテーション・けん引式車いす補助装置取付け

マンホールトイレ設置訓練※整備会場のみ





(5)初期消火訓練又は応急救護訓練・・・・・・・・市職員、市民
主会場を除く81会場で、水消火器を用いた初期消火訓練又は訓練用人形を使用した
応急救護訓練を実施しました。

(6)防災関係機関との情報伝達訓練・・・・・・・・市職員、防災関係機関
防災 MCA 無線により防災関係機関及びライフライン各事業所への通信訓練及び情報
伝達訓練を実施しました。

